

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
株式会社ベビーサポート 保育所等訪問支援 ASWITH		R8年 2月 24日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・運営・体制整備	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	1	2	教材を揃うべきである支援に関する学びの教材はそもそも数が少ない。	教材に関しては訪問員と相談緒上、なにが必要か検討する。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	0	以前と比べて職員の拡充ができています。	今後も必要に応じて訪問員の拡充を行う。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	0	全職員で課題や背景を共有し、もっと同じ方向性を向いてやる必要がある。	職員間で振り返りを行い、現在の様子の粕に挙める。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	1	評価表作成し、意向調査を行う予定	今後必要であれば評価項目の増減を検討する。
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	支援中にも保育者同士で話し合い改善を行っている。	困りごとや対応についての相談は積極的に回答する。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	2	評価表作成し、意向調査を行う予定	評価内容を受けて反省を行い、都度業務改善に務める。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2	1	研修の開催する機会を増やしていいと思います。	研修に関しては実施を検討する。
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	3	0	担当者会議に参加し、保護者の意向などの確認を行い、計画書を作成している。	今後も担当者会議だけでなく、要望などを見逃さないようにする。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	0	職員間で児童の情報の共有を行い、より理解を深め、計画書を作成している。	今後も継続して情報共有を行う。
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	3	0	担当者間で情報共有を行い、支援計画の作成、見直しを行っている。	定期的に担当者と連絡をとり互いに情報共有を行う。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	0	計画書作成時は回覧を行い、職員間で周知を行っている。	今後も継続して情報共有を行う。
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	1	モニタリングを行い計画書の作成をしている。	定期的に児童の様子をモニタリングし、計画書の立案に取り組む。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	3	0	5領域を踏まえて支援や助言を行っている。	今後も保護者の意向に沿って支援を行う。
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	0	計画作成時は回覧を行い、内容の周知を行っている。	今後も継続して実施する。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	0	普段の様子などの確認を行った後、訪問を行う。	訪問前には欠かさず確認を行う。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	1	打ち合わせは出来ていない	記録によって結果の周知はできているが会議はできていないため、検討する。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	3	0	あくまでも支援の提案や助言といった立場であるため、先方の尊重はしている。	今後も継続する。
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	3	0	訪問時に記録を作成しており、訪問先、保護者へ送付し、事業所でもファイリングをして管理している。	今後も継続して記録を残す。
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	0	およそ半年沖にモニタリングや計画書の見直しを行っている。	今後も継続して行う。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	0	当施設を普段から利用している児童に関して会議の前は記録の振り返りを行っている。よく理解している職員が同席しており、保育所等訪問のみの児童に関しては訪問員が担当している。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	0	担当者会議にて関連機関との連携を行っている。今後も連携を密に行っていく。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	0	就学の際は必要な情報を共有し、児童の特性などに関しての伝達を行っている。	今後も継続して行う。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2	1	外部研修の参加が出来ていない。	研修に関しては参加でき、業務の改善につながるものに関しては参加を検討する。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	1	2	現在参加はしていない。	今後検討する。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	2	1	訪問を行った際は結果などの書類を送付している。	訪問外でも連絡が必要になってくる場合は都度連絡を取り合う。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	1	現在家族参加の研修などは実施されていない。	今後保護者参加の研修を企画している。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	0	利用開始時に読み上げを行い、誤解の無いよう説明している。	今後も継続して説明を行う。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	3	0	目的や趣旨に関しては事前に説明を行い訪問している。	今後も継続して行う。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	0	保護者からのニーズに関しては日々確認を行い、支援をしている。	今後も継続して行う。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3	0	保護者へ説明を行い、同意を得ている。	今後も継続して実施する。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	2	1	訪問時に不安な点などの聞き取りを行い、助言や相談などの支援を行う。	今後も要望があった際は迅速に対応する。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	2	1	現在実施していない。	今後実施を検討していく。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	0	主に電話での対応となるが相談窓口は設置しており、相談等があれば迅速に対応している。	今後も継続して行う。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	1	発信が出来ていないので、積極的に発信することが大切。	ブログやSNSを通じてどういった支援をしているのか検討を行う。
訪問先施設への説明等	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0	個人情報に関しては鍵のかかる棚に保管しており、安易には持ち出せない体制を整えている。	今後も個人情報の取扱いに関しては十分に留意する。
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2	1	支援の中にもう少し可視化を取り入れる。	分かりやすく何を行ったのかなど伝わりやすい報告書を作成する。
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3	0	相談等があった場合は都度助言や支援を行っている。	必要に応じて都度対応している。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2	1	対面でのカンファレンスは実施していない。	訪問実施後は報告書を各所へ送付している。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	3	0	訪問実施後は報告書を家族へ送付している。	今後も継続して行う。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0	個人情報に関しては鍵のかかる棚に保管しており、安易には持ち出せない体制を整えている。	今後も個人情報の取扱いに関しては十分に留意する。

非常時等の対応	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	3	0	訪問先施設の意向などを尊重し必要な助言や支援を行っている。	今後も改善すべき点があった際は取り入れつつ支援を行う。
	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1	2	各マニュアルを策定し、定期的に避難訓練を実施している。	今後も継続して行い、防犯意識を高める。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	1	安全計画に関しては策定を行い、十分に配慮している。	今後も安全に十分配慮して業務を行う。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	0	必要に応じて実施している。	今後も継続して行う。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	0	虐待防止に関してのマニュアルを作成し、一定期間ごとに研修を実施している。	日々の支援内容が適切であるか確認を行い、実施する。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	0	保護者に対しては利用開始時に必要に応じて身体拘束を行う可能性があることを伝え、同意を得ている。	今後も継続して実施する。